

大崎農指選第3号
令和5年1月24日

大崎市長 伊藤 康志 様

大崎市指定管理者選定委員会
委員長 菊地 淳一



大崎市指定管理者選定委員会における選定結果について（報告）

大崎市指定管者選定委員会において、大崎市ジビエ食肉処理加工等施設の指定管理者選定にあたり、申請団体から提出された申請書を審査し、下記のとおり選定したので報告します。

記

1 指定管理者候補者

所在地 宮城県大崎市古川川端3番19号
名称 ジビエの郷 おおさき
代表者 代表 菊地 雄大

2 選定経過

選定委員会（1日目）令和4年12月21日（水）委員会設置、現地視察
大崎市地域交流センター研修室2
選定委員会（2日目）令和4年12月26日（月）審査会
大崎市地域交流センター研修室4

3 選定委員会の委員

委員長 菊地淳一
委員 菅原貞一（職務代理者）
村上伸子、島谷久夫、佐藤浩也、高橋順子、高橋英里子、斉藤由美

4 審査方法

今回、大崎市ジビエ食肉処理加工等施設の指定管理者の募集に対し、1団体からの申請があり、募集要項に定める選定の基準に従い、担当課からの説明、指定管理者指定申請書の審査、プレゼンテーション・ヒアリング等を踏まえ、各委員が審査点を付し、その審査結果を踏まえ委員の合議により候補者の選定を行った。



5 審査得点(審査順)(委員8名)

団 体 名	総 合 点	平 均 点
ジビエの郷 おおさき	598/800	74.75

6 選定理由

団体としての事業遂行能力，事業計画のいずれも基準を満たすものと評価され，申請団体が管理運営することにより，施設の設置目的に沿った効果的な管理運営が見込まれる。

7 審査の総評

申請団体のジビエの郷おおさきについて，野生鳥獣肉を利用するうえでの衛生管理，精肉等の販路先にも精通しており，また，捕獲した有害鳥獣個体を地域の資源として，精肉のほか，ペットフード加工やイベント催事へのPR等，大崎産ジビエへの意欲の高さが見られ，イノシシ肉では東北初となるジビエの推進に向け，今後の展開が期待される。

当施設の指定管理にあたっては，放射能対策や宮城県が豚熱感染区域とされていることから，当面は，捕獲個体全量のジビエ利用は難しい状況と思われるが，施設の設置目的を十分に理解し，大崎市鳥獣被害対策実施隊やおおさきジビエコンソーシアムと連携を図り，安全で安心なジビエ肉の提供とジビエ文化の推進，そして農作物被害軽減に寄与し地域に愛される施設を目指していただきたい。